

2012年7月24日

平成24年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議
関東東海・水田作畑作部会 冬作研究会 開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議
関東東海・水田作畑作部会長 中央農研 生産体系研究領域長 渡邊好昭
同副部会長 作物研 稲研究領域長 根本博

1. 趣旨

関東東海地域における冬作物の生産性や品質の向上、生産体系の改善を図るための研究計画や試験研究戦略について検討し、作物育種研究、栽培・品質研究及び作業技術体系を核とした試験研究の情報交換や課題化の推進を行う必要がある。食料・農業・農村基本計画では、麦類の大幅な増産が求められており、そのために水田の高度利用による作付面積の拡大が謳われている。しかしながら、水田転換畑では現在においても湿害によると考えられる生育抑制の結果、気象条件から推定される収量ポテンシャルに及ばない実情にある。したがって、今後、麦類の収量性の大幅向上、ならびに生産者の作付意欲を高めるためには、湿害回避のための技術開発が不可欠である。そこで、湿害発生 of 生理機構について理解を深めるとともに、耐湿性品種の育成、および湿害回避栽培技術について検討し、試験・研究への方向や研究課題の設定につなげるための議論を行う。

2. 開催日時 平成24年9月12日（水）13：15～13日（木）12：00

3. 開催場所 中央農業総合研究センター 大会議室

4. 議 事

1) 開会挨拶 (9/12、13：15～30) 水田作畑作部会長

2) 重点検討事項の検討 (13：30～17：00)

「麦類の湿害の発生状況とその対策技術」

(1) 「麦類の湿害についての概説」

作物研究所

(2) 「麦類の湿害発生の生理的側面」

作物研究所

(3) 「耐湿性の検定と耐湿性品種の育成」

愛知県農業総合研究所

(4) 「湿害回避のための栽培技術」

中央農業総合研究センター

(5) 「各県における湿害発生状況の紹介」

(6) 総合討論

3) 新品種候補、新配付系統と品種決定に関する情勢報告 (9/13、9：00～11：00)

4) その他 (11：00～12：00)

5. 参集範囲：農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、関東東海地域都県農業関係試験研究機関、普及機関及び行政部局の関係者、作物研究所、中央農業総合研究センター、その他部会長が必要と認めた者

6. 連絡先 (事務局)

中央農研 温暖平坦地水田輪作研究 (関東水田輪作) グループ 渡邊和洋

電話：029-838-8822 FAX：029-838-8484

E-mail: kanto-suiden@naro.affrc.go.jp

7. その他

資料作成、参加申し込み、その他については、別途事務局より連絡する。